

令和2年度第1回学校関係者評価委員会 記録

委員：水越省三（同窓会代表、葵名和幼稚園理事長）

武石協子（保育・幼児教育関係施設代表 社会福祉法人NUAたきこ幼稚園長）

大畑領治（地域代表 昭和区民生・児童委員）

菅沼友美（保護者代表 本学後援会会長）

杉浦宏幸(校長)、 坂部良二(副校長)、 木村節治(保育科長)、 加藤由美(教学主任)

開催形態

令和2年度第1回学校関係者評価委員会については、当初6月26日（金）に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各委員に資料を送付し、意見を伺うという形態に変更して実施した。

送付資料

①令和2年度 教育理念・教育目標・求める学生像・めざす学生像・経営方針、等

②令和2年度 学生数状況

③令和元年度 就職状況

④教育課程（別添学生便覧・講義要綱冊子）

⑤令和2年度 前期・後期時間割表

⑥令和2年度 年間行事計画

⑦自己評価、学校関係者評価について

⑧学生による授業評価について

⑬その他

・新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度学事日程の変更等

・令和元年度 各種奨学金受給状況一覧

1 校長あいさつ

紙面上にて、校長から外部委員への挨拶を行った。また、その中で、経営方針として、学生支援の重点として5項目及び重点努力目標としての5項目にしっかり取り組んでいくこと、また、隣接している滝子幼稚園、たきこ幼稚園との連携を深め、両園でのプレ実習や園の先生による授業等を通して、即戦力となる幼稚園教諭・保育士の養成に努めていく旨の説明があった。

なお、挨拶の最後に、ここ数年の入学者数の減少により、令和2年4月1日から2年間、学生募集を停止するとの報告があった。

2 外部委員からの意見

- ・資料①にある「教育理念・教育目標・求める学生像・めざす学生像・経営方針、等」の内容を確実に実践してほしい。
- ・資料⑦の「自己評価、学校関係者評価結果」について、「B」は当たり前だが「A」といえるものが少ないことが残念である。

- ・資料⑧「学生による授業評価」に関しては、回答した学生数を明らかにしてほしい。それによって、見方も変わってくるのではないか。
- ・「社会貢献」としては、「昭和区子育てサロン」を昭和区内9学区で行っているのを紹介する。
- ・大学と異なり、生徒と教員との関係が親しく、少人数だからこそ教育が行き届いた良い学校だと思っている。隣に現場もあり、卒業後の実践にも安心できる。一つ残念なことは、幼稚園教諭・保育士資格の二つが取得できる東海エリアでも数少ない指定校であるにもかかわらず、学生募集停止になったことである。
- ・教育課程は、子どもの目線に合わせた、資格・免許に必要なカリキュラムが組み立てられており良いと思う。学生同士話し合ったり、協力して学習したりする姿も聞こえてくる。コロナの影響が大変な中にもかかわらず、充実した実習（現場）で学べることは大変ありがたいと思う。
- ・「自己評価・学校関係者評価」については、適切な評価がなされており、同意できる。個人的には、社会人など様々な学生がいる中で、個々にあった支援等がなされていると感じられ、大変素晴らしいと思っている。
- ・学生による授業放課からは、学生が目標をもって入学し、積極的に学業に取り組んでいることがよく分かった。

6 今後の予定

- ・次回開催 令和2年10月24日（金）10：00～